

平成28年度企画展

シリーズ ミュージアムとの創造的対話 01

Creative Dialogues with Museum 01

Monument/Document

西野達

Tatzu Nishi

誰が記憶を所有するのか

記憶

を所有

Who Owns the Memory?

所有

Who

Memory?

中ハシクシゲ

Kateushige Nakahashi

白川昌生

Yoshio Shirakawa

2017.

2.25

sat.

から

3.20

Mon.

まで

休館日なし

600円 鳥取県立博物館 | 午前9時～午後5時 入館は閉館の30分前まで

20名以上の団体=400円 次の方は無料です/大学生以下・学校教育活動での引率者・障がいのある方・要介護者及びその介護者・70歳以上の方

無料 鳥取市街地エリア | 午前10時～午後6時 川端会場のみ午前11時～午後8時

無料 米子市街地エリア | 午前10時～午後6時

鳥取県立博物館は、1972年の開館以来今日まで、調査研究に基づく資料の収集や展覧会及び教育普及プログラムを通して文化芸術を保存し、次世代へ継承していくための活動を行ってきました。こうした活動をさらに広げ、これからのミュージアムの可能性をひらく試みとして、シリーズ展「ミュージアムとの創造的対話」を開始します。本シリーズでは、ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探っていききたいと思います。

第1回目は、「誰が記憶を所有するのか?」を緒言に、「モニュメント」と「ドキュメント」をモチーフとして取り上げます。記憶の貯蔵庫であると同時に生産場所でもあるミュージアムはもとより、人間の営みの所産である美術作品もまた、記憶に深く関わってきた存在です。事柄を秩序立て、ひとつの流れとして叙述する「歴史」とは異なる方法で、美術は人々や社会の記憶を遺し、そのあり方を問いかけてきました。「モニュメント」は、公共空間に設置される永久的な記念のために制作・設置され、ある社会や集団の固有の記憶を留めるものです。一方言語をはじめ映像や写真といったメディアによる「ドキュメント」は、行為、プロセスといった一時的な出来事の記録として、その過去を伝えています。両者の性質は異なるもののいずれも「遺すこと」と「想起すること」をその本質とするものであり、歴史と美術、双方において重要な一角を成してきました。

本展では、これらについて批評的な視点を与える白川昌生、中ハシクシゲ、西野達の3名のアーティストの作品を紹介します。それぞれの作品を手掛かりに、今回の問いかけ——誰が記憶を遺し、担うのか、そして記憶とどう向き合い、関わりを持っていくのか——について考えてみたいと思います。



<群馬県個人強制運行追悼碑> 2014 photo: Shinya Kigure



西野達

Tatuz Nishi



1960年愛知県生まれ。日本とドイツで美術を学び、現在はベルリンと東京に拠点を置きながら、世界各地の都市を舞台に、公共空間に介入し人々の慣習や常識を打ち破る挑戦的なプロジェクトを数多く手がける。



<マールライオン・ホテル> 2011 Marina Bay, Singapore photo: Yusuke Hattori

白川昌生

Yoshio Shirakawa



1948年福岡県生まれ。70年代から80年代にかけてフランス、ドイツで哲学と美術を学ぶ。帰国後は、制作の場を群馬に置き、地域の固有性、歴史性を足場に批判的態度をもって作品制作やプロジェクト運営、展覧会企画、執筆など旺盛な活動を続け、新たな記憶の共有による未来の可能性を提案している。



中ハシクシゲ

Katsushige Nakahashi



1955年香川県生まれ。西洋に起源を持つ彫刻への違和感から、日本の風土における彫刻のありかたをその初期より一貫して追求している。2000年代には実物大のゼロ戦を共同制作する「ゼロ・プロジェクト」を国内外で実施。近年は水筆画に発想を得た即興的な粘土の造形表現に取り組んでいる。



<蜻蛉> 2015 photo: Kazuo Fukunaga

関連イベント

オープニングトーク

「誰が記憶を所有するのか?」

2月25日(土) 14:00-15:30
鳥取県立博物館2階講堂 | 250名(先着順) | 無料
出演: 白川昌生、中ハシクシゲ、西野達、尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長)
進行: 赤井あずみ(本展担当学芸員)

ギョウリートークツアー

鳥取エリア: 2月26日(日) 10:00-12:00
集合場所: 第2特別展示室
米子エリア: 2月26日(日) 15:00-16:00
集合場所: 稲町児童遊園地

15名程度(先着) | 要観覧料・交通費(どちらかだけの参加も可)
本展担当学芸員と展示会場を巡りながら、作品について参加者と対話します。

西野達 × 赤井あずみ トークセッション

「西野達はいかにしてキュレーターを白髪にするか?」

3月4日(土) 16:00-17:30
鳥取市街地(瓦町201 1F角) | 20名(先着) | 無料(飲食代別途)
今回手がけた作品の舞台裏をはじめ、街に介入するプロジェクトのアイデアからプランの実現までのプロセスを検証します。

白川昌生 ワークショップ

「形ハンターになろう」

3月11日(土) 14:00-16:00
鳥取瓦町会場 | 小学生~一般 15名(要予約) | 無料
鳥取の街中で見つけたかたちを取り出して、さまざまな素材を使ってその造形を再現します。

中ハシクシゲ ワークショップ

「粘土や土は足元にある身近な素材です。「泥彫刻」をやってみましょう。」

3月12日(日) 14:00-16:00
第2特別展示室 | 高校生~一般 15名(要予約) | 要観覧料
粘土を伸ばしたりちぎったりしながら、即興的に「粘土を活ける」新しい彫刻を作ります。

中ハシクシゲ レクチャー

「私たちの彫刻」
3月18日(土) 14:00-15:30
第2特別展示室 | 20名(先着) | 要観覧料
東洋文化の流れを汲む「彫刻」のありかたについて、自身の制作への取り組みを軸にお話しできます。

鳥取市街地エリア



鳥取市街地エリア [各会場にて詳細な地図を配布しています]

- 瓦町会場 (鳥取市瓦町 507)
- 川端会場 (鳥取市川端一丁目 210)
- 末広会場 (鳥取市末広温泉町 702)
- 上町会場 (鳥取市上町 93-1 榎鈴グランドアパート内)

①E 100円バス「くる製」(赤コース) [12 榎鈴公園やまびこ館前] 下車すぐ
②上町会場を觀賞される方は、鳥取市歴史博物館第2駐車場をご利用いただけます。

鳥取県立博物館 交通のご案内

- ③JR 鳥取駅からバスで
- A 100円バス「くる製」(緑コース)で「11 仁風閣・県立博物館前」下車すぐ
- B ループ麒麟獅子(土・日・祝)で「3 鳥取城跡」下車すぐ
- C 砂丘・湖山・賀露方面行「西町」下車、約400m
- D 市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車、約600m
- ④JR 鳥取駅からタクシーで「約10分
- ⑤鳥取空港から「鳥取駅連絡バス」で「西町」下車、約400m
- ⑥お車で「鳥取自動車・鳥取IC」より約15分
- ⑦当館駐車場21台駐車可能・満車の場合は県庁北側駐車場へお回りください[無料](なるべく公共交通機関をご利用ください)



米子市街地エリア [各会場にて詳細な地図を配布しています]

- ⑧稲町児童遊園地周辺 (米子市稲町一丁目 59, 60, 法勝寺町 96-2)
 - ⑨米子本通り商店街 (米子市四日町)
- 両会場ともJR米子駅から徒歩約12分
⑩米子会場を觀賞される方は、鳥取県西部総合事務所駐車場をご利用いただけます。

引越しは日通
ひっこしはにっつう
0120-154022

MORRIX
株式会社モリックスジャパン
TEL 0857-23-3641
本社 鳥取市南栄町203-6
倉吉店 倉吉市下田町870 中瀬ビル3F
http://www.morrix.co.jp/

鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM
〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124
TEL.0857-26-8042 FAX.0857-26-8041
http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm
E-mail:hakubutsukan@pref.tottori.jp